

笠原小学校・笠原中学校「外国語(英語)科」における目標の段階表【話すこと(Spoken Interaction)】

外国語科の目標									
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。									
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力				言語や文化についての知識・理解			
取組	継続	話題	内容	方法	程度	言語知識	文化理解	評価時期・方法	
中 第三学年			客観的な事実や様々な考え、経験等に基づいた自分の意見や主張、その根拠等を		6~7往復程度の英語で話すことができる。	中学校第3学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト ・LESSON 3 (インタビュー) ・LESSON 5 (国紹介) ・LESSON 7 (ディスカッション)	
中 第二学年	つなぎ言葉を用いて、不自然な間を埋めながら積極的に話している。	つなぎ言葉を用いて、不自然な間を埋めながら話している。		自分の考えや気持ち、その理由、体験や事実等を	・聞き手の理解に応じた別の表現に置き換えたり、より詳しく説明したりしながら ・順序立てた言葉を使うなどして、話題の展開を整理しながら	5~6往復程度の英語で話すことができる。	中学校第2学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト ・LESSON 5 (オーストラリア紹介)
中 第一学年	自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら積極的に話している。	自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら話している。	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会等について	自分の考えや気持ち、その理由、身の回りの出来事や事実等を	・具体例や詳細を示しながら ・聞き手の立場や気持ち、場面や状況に応じて適切な表現を用いて ・結論を先に述べて説明しながら	4~5往復程度の英語で話すことができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト ・LESSON 5, 6 (人物・もの紹介)
第六学年			自分自身や身近な生活及び世界について	好きなことやしたいこと、その理由、できること及び世界の国々や学校の魅力等を			これまでに学習してきたことに加え、学校の魅力等を問答する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト 第1回「生活時間を見直そう」 第4回 1年間のまとめ
第五学年	質問を繰り返して聞き手が話題に巻き込むように積極的に話している。	(質問を繰り返して聞き手が話題に巻き込むように話している。)	自分自身や身近な生活及び日本について	好きなことやしたいこと、その理由、できること及び地域や開発商品の魅力等を	・大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら ・相手が理解しにくい時に、反対語や例を示したり、絵を描いたりして説明を加えながら	15語前後、3~4往復程度の英語で話すことができる。	これまでに学習してきたことに加え、開発商品の魅力等を問答する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト 第1回「お米で日本を感じよう」 第4回 1年間のまとめ
第四学年			自分自身や身近な生活及び岐阜県について	好きなことやしたいこと、その理由、できること及び地域の魅力や自分の出生時の様子等を			これまでに学習してきたことに加え、地域の魅力や自分の出生時の様子等を問答する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト 第1回「こんにちは赤ちゃん」 第2回「あなたのおこがれの職業は？」 第4回 1年間のまとめ
第三学年	聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら積極的に話している。	(聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら話している。)	自分自身や身近な生活について	好きなこと、欲しいもの、できること及び地域の魅力や生き物の特徴等を	・大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら ・相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら	10語前後、2~3往復程度の英語で話すことができる。	これまでに学習してきたことに加え、生き物の特徴等を問答する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト 第1回「いづくかな?」 第2回「こん虫はかせになろう」 第3回「わたしの好きなおべんとう」 第4回 1年間のまとめ
第二学年			自分自身や身近な生活について	話し手の好きなこと、欲しいもの、できること及び物の数や大きさ等を	絵や写真、具体物等を指し示して分かりやすく		これまでに学習してきたことに加え、できること及び物の数や大きさ等を問答する言語材料について正しく理解している。		・パフォーマンステスト 第1回「いづくかな?」 第2回「はにいいものなあに?」 第3回「おいしいスープをつくろう」 第4回 1年間のまとめ
第一学年	・間違ふことを恐れず、英語を積極的に話している。 ・相手を見て、聞き手に注意をはらって積極的に話している。 ・笑顔等で聞き手をリラックスさせながら積極的に話している。 ・「OK?」等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。	・間違ふことを恐れず、英語を話している。 ・相手を見て、聞き手に注意をはらって話している。 ・(笑顔等で聞き手をリラックスさせながら話している。) ・「OK?」等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら話している。	自分自身や身近な生活について	話し手の好きなことや欲しいもの等を	・聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で ・英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら	5語前後、1~2往復程度の英語で話すことができる。	好きなことや欲しいもの等を問答する言語材料について正しく理解している。 ・英語特有の音やリズム、イントネーションを正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	・パフォーマンステスト 第1回「いづくかな?」 第2回「なににしようかな?」 第3回「かたちであそぼう」 第4回 1年間のまとめ

空白のマトリックスについては、その学年において新たな指導内容がないことを意味し、既習の指導内容を繰り返し継続的に指導するものとする。